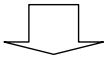


コミュニティバス導入の促進(福祉と観光の向上)

地域交通導入までの取組手順(「地域交通の手引き」H19.3川崎市から抜粋)

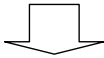
ステップ0 地域住民等で検討体制を構築

地域交通に関して地域で取組を始める場合、地域が抱える交通の問題や今後の取組み方針などを地域で考えるための場として協議会等の検討体制を構築します。



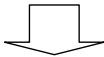
ステップ1 地域ニーズの把握と市の交通サービスの評価

- 地域ニーズ・概算需要の把握
生活交通の状況や移動に関する要望等について、アンケート調査等を通じて把握します。その結果を基に概算の需要を算出します。
- 地域交通の評価
既存する交通手段を様々な観点から評価します。



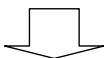
ステップ2 既存交通手段及びシステムの見直し

- 既存の交通手段及びシステムの見直し案の作成
- 事業者に対し、見直し案の検討依頼



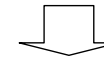
ステップ3 新たな交通手段及びシステムの選択

- 運行目的、運行方針の立案
- 走行環境の調査(ルートの選定)
概ねのルートを設定し、そのルートの走行環境を事前に調査します。
- 新たな交通手段及びシステムの選択
運行目的や方針に合致する交通手段及びシステムを選択します。
- 運行主体・運行計画(案)の作成
- 走行環境手テストの実施
必要に応じて、実際に運行する車両を用いて走行環境テストを実施します。



ステップ4 運行実験の実施

- 運行実験計画書の作成
運行計画(案)を踏まえて、運行実験計画書を作成します。
- 運行実験の実施
運行実験計画書に基づき、運行実験を実施します。
- 運行実験の評価(定めた目標の達成度)
地域交通の導入の必要性、有効性などを評価するために目標を定め、それほどの程度近づけたか(達成度)により評価します。



ステップ5 試行運行の実施

- 試行運行計画書の作成
運行実験の結果を踏まえ、試行運行計画書を作成します。
- 試行運行の実施
試行計画書に基づき、試行運行を実施します。
- 試行運行の評価
評価項目やそれを表す指標など、目標を定め、それほどの程度近づけたか(達成度)により評価します。



ステップ6 本格運行

- 本格運行計画書の作成
試行実験の結果を踏まえ、必要に応じて、本格運行計画書を作成します。
- 本格運行
試行運行を引き継いで本格運行を行います。
- 本格運行の評価
本格運行後は、モニタリングを実施し、運行内容の分析・評価を行い、必要に応じて、運行条件等の見直しを行います。